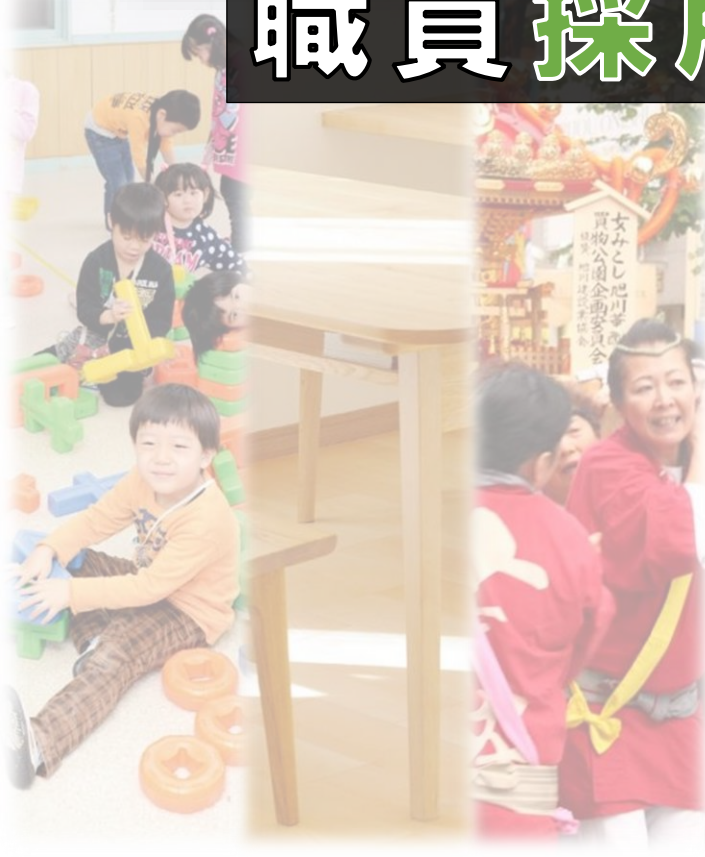


動物園、だけじゃない。



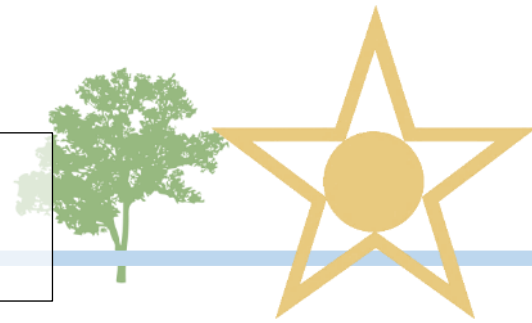
旭川市

職員採用パンフレット



2021 年 2 月
旭川市総務部人事課

1 旭川市の紹介



雄大な自然と都市機能が共存する
北北海道の拠点「あさひかわ」



旭川市は人口 33 万人、北海道で 2 番目、関東以北で 4 番目の人口規模を誇る北北海道の拠点都市です。

教育・医療・交通といった都市機能を備えつつ、**大雪山**からの伏流水がもたらす木々花々の景観やその水を利用した地酒が楽しめるなど、自然と都市が共存するまちでもあります。



地震などの**災害が少ない**ほか、北海道のほぼ中央

部に位置するため、休日は観光地めぐりもしやすく、冬はスキーなどのウィンタースポーツを日帰りで楽しむことができます。物流の集積地でもあり、四季折々の山の幸・海の幸を味わうことができます。

また行動展示で全国的な人気となった

「旭山動物園」をはじめ、

「地酒」・「旭川家具」・「旭川ラーメン」などの観光資源や地域特産品、「北の恵み食ベマルシェ」・「冬まつり」といったイベントもたくさんあります。



まちの周囲には大雪山がもたらす
自然・田園風景が広がります

2 市役所の仕事

私たち旭川市職員の仕事は、旭川市民の暮らしを支え、まちの維持・発展のために、多くの
人・組織と協力して

まち全体を動かしていくことです。



まちづくりの計画をたて、市民にわかりやすく説明をする
時にはイベントを企画し、多くの観光客を迎え入れる
また時には窓口に立ち、暮らしに必要な手続きをお手伝いする—

税、子育て、経済、福祉、教育など様々な分野
で、市民の声に耳を傾け、まちの未来を描きながら
新しい旭川づくりに取り組んでいます。



街をつくる

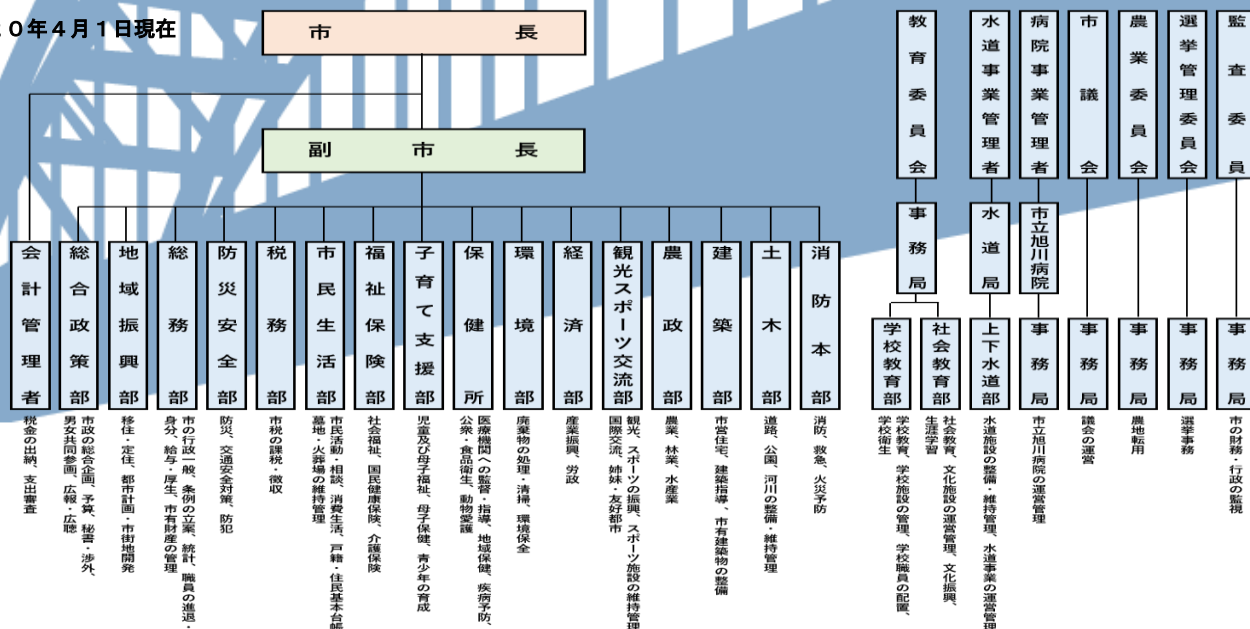


賑わいをつくる



暮らしをささえる

※2020年4月1日現在



旭川市役所には現在 **25** の部局（※）があります。それぞれの部局が、旭川市民の皆さんの日々の暮らしをささえながら、少子高齢化や地域活性化など、旭川市が抱える課題の解決に取り組んでいます。

自治体の仕事はひと昔前に比べると専門的かつ多様化してきておりますが、**3～4年周期**で人事異動をしながらいろいろな分野の仕事に携わり、経験ができるのも市役所職員の特徴のひとつです。

3 仕事の紹介—事務

※ 年齢は令和3年4月1日時点のものになります。

子育て支援

妊娠・出産・子育て切れ目のない支援

旭川市の合計特殊出生率は全国値よりも低い水準にあり、核家族化が進み、女性の社会進出など近年急速に子育てする環境が変わってきています。

旭川市では妊娠・出産・家庭に関する各種相談や健診、家庭訪問を行ったり、身近なところで気軽に利用できる場所として児童センターや地域子育て支援センターなどを設置し、子どもをもつ親に向けた切れ目のない支援を行っています。



先輩職員の声



西田 暁子 (30)
子育て支援部
母子保健課

子どもの健やかな成長を応援

このまちで生まれ育って良かったと思える、子どもの成長を地域みんなで喜び合うことのできる、そのような温かいまちを目指し様々な取り組みを行っています。

また、様々な理由で十分な食事が取れない、進学や就職を制限されるなどの困難を抱える子どもに対する支援も行っています。

- ・「子どもの居場所」作りを行う団体が活動しやすいような支援
- ・将来、なりたい職業を思い描けたり、乳幼児とのふれあいを通じて命の大切さや親になることの喜びを感じられるような事業の実施
- ・自分のこと、学校や友人のことなど、気軽に相談できる体制作り



安心して子育てできる環境作り

核家族化によって子育ては孤立化する傾向にあり、頼れる親族が近くにいないなど子育てに不安を抱える方がたくさんいます。安心して働きながら子育てができる環境作りのため、旭川市では次のような取り組みを進めています。

- ・保育園や放課後児童クラブの待機児童ゼロを維持
- ・子どもを安全に預けられる仕組み作り
- ・中学生までの医療費の助成
- ・ひとり親に関する助成
- ・屋内遊戯場「もりもりパーク」の設置



親子で元気いっぱい遊べる
「もりもりパーク」

子どもはみんな大きな可能性を秘めています。
子育て支援に関わる仕事は夢と希望があります。
「旭川で生んで・育って良かった!」と思う人を一緒に増やしましょう!

経済・観光

まちの賑わいをつくりだす

北海道の農畜海産物・ご当地グルメ・加工品・スイーツが旭川に集結する北海道最大級の食の祭典「北の恵み 食べマルシェ」。

世界最大級の雪像が楽しめる北海道の冬を代表するイベント「旭川冬まつり」。

来場者数が延べ100万人規模を誇るイベント開催も、市役所の仕事の一つです。
また、地域コミュニティの核である商店街の活性化や地元に着したまつの開催支援など、まちを元気にする地域づくりにも取り組んでいます。



先輩職員の声



佐々木 亮 (31)
経済部
経済交流課

まちの魅力を発信する

観光客が訪れ交流人口が増えることで、観光施設にとどまらず、宿泊、飲食、物産、交通などあらゆる分野に活力を与えることができます。周辺の自治体や観光関連団体と連携し、観光客誘致活動や受入体制の充実を図るとともに、北海道最大の冬のイベントである「旭川冬まつり」の開催等を通じ、魅力ある観光地づくりを進めています。



旭川冬まつり
大迫力の大雪像と花火

地域の“稼ぐ力”を高める

地元企業の営業力の強化のため、民間企業・行政機関・金融機関が連携し、全国の百貨店での物産展や道の駅との物産交流のほか、商談会の開催や展示会への出展支援を行い、国内外における地場産品の販路開拓や拡大に取り組み、地域の“稼ぐ力”を高めています。

100万人にも及ぶ多くの人を惹きつけるイベントをつくる充実感があります。また民間企業と連携して国内外に旭川を売り込む一体感が味わえます。



地域振興

中心市街地活性化の取組

中心市街地の維持・活性化のため、まちなかに「来る・住む・滞在時間を延ばす」のきっかけとなる魅力・コンテンツづくりを展開し、冬季には駅前広場や北彩都ガーデンなどを活かした賑わいづくりを行っています。

また、賑わいを生む地域の自発的な取組を地域や事業者などと協力しながら進めています。中心市街地の活性化を市民が肌で感じられるような事業を企画・実施しています。



移住定住促進の取組

将来の人口減少の進行を見据え、移住・定住の促進を図ることを目標に、中心市街地活性化などの取組と連携しながら、魅力PRや情報提供体制の強化、移住体験ツアーなどを実施しています。

令和元年には、市と民間事業者などが集まり移住促進協議会を設立しました。それぞれの強みを生かしながら、まち全体で移住支援策に取り組んでいます。



旭川駅前広場の冬限定のスケートリンク
「ゆっきリンク」

旭川駅前の広場・駐車場の維持管理

旭川駅を利用する市民や観光客等のため、旭川駅北・南広場における清掃・除雪をはじめ、広場内のイベント開催、交通安全の確保などの管理業務を行っています。

また、傷んだ箇所の修繕や設備の改修などを行って、旭川駅前広場の施設機能を維持しています。



先輩職員の声

小松 一恵(43)
地域振興部
地域振興課



民間事業者、市民など様々な方との連携や協議、調整があって人脈が広がります。地域の課題に直接触れることができる仕事なので、未来の”あさひかわ”づくりに意欲のある方にはぴったりな職場です。

福祉-生活保護

生活を保障する

「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」日本国憲法第25条にはこのように定められています。この理念に基づく生活保護法は、生活に困っている方々に最低限度の生活を保障することを目的としています。

生活保護を担当するケースワーカーは、家庭訪問などを通じて、相談に応じたり、生活の維持向上を図るための助言などを行います。



自立を助ける



生活保護法は、生活に困っている方々が自分の力で生活していけるよう支援することも目的としています。支援が必要な方に応じて介護サービスや障害福祉サービスの利用を支援したり、社会参加の場や就労体験の機会を提供する、自力で就労につながらない方のために仕事探しサポートするといった、さまざまな支援を行います。

ケースワーカー業務のやりがいと魅力

ケースワーカーは、市民に最も近い場所で生活を支える、難しい仕事です。しかし、ご本人との間に信頼関係を築き、気持ちに寄り添って支援することで、次の一歩に進むことができた時には、大きなやりがいを感じることができます。

保護課には若い世代の職員も多く、新人職員を職場全体で支え育てる気風があります。生活保護に携わる職員は150人を上回っており、保護課で得た仲間とのつながりが、異動後の職場でも大きな力となっています。



先輩職員の声

野田 一生(23)
福祉保険部
保護第3課



保護課は、同期の仲間、同世代の仲間が多い職場です。ケースワーカーは、みんな同じ仕事をしているので、わからないことがあったらすぐに聞くことができ、お互いにカバーし合うことができます。仕事内容は大変ですが、その苦労だけでなく、大きな達成感も仲間と分かちあえる職場です。

4 仕事の紹介—技術

※ 年齢は令和3年4月1日時点のものになります。

市民の生活をまもる — 土木事業所 —

まちを守る

ゲリラ豪雨に代表されるような急激な気候変動で、少し前までは考えられなかったような強い雨が増えました。

災害を防ぐ、被災を最小限に留める、まちを守ることも私たちの役割です。



冬の生活を守る

学校へ行けない、バスが来ない、救急車や消防車が通れない、…、これでは安心して生活することができません。

冬でもヒト・モノの流れを確保して、安全に安心して生活できるように、日々、除雪・排雪と、雪対策について取り組んでいます。



次世代に引き継ぐために

良好な生活環境を維持していくためには、道路や河川のメンテナンスが欠かせません。

次世代に良好な生活環境を引き継いでいくために私たちは働いています。



安らぎ溢れる空間をつくる — 公園みどり課 —

公園や緑地を造る

親子の憩いの場、子どもたちのあそび場、夏まつりや地域行事の場など、公園は市民にとって楽しさ溢れる憩いの空間ですが、樹木や芝生など、みどりの持つ力でまちの空気をきれいにしたり、災害時の避難場所としても使われています。

このように、いろいろな面から快適な市民生活を支える公園や緑地を造る・守ることが主な仕事です。



みどりの魅力を引き出す

造る・守るだけではありません。みどりを広げる市民参加イベントを企画・開催したり、みどりのさらなる魅力を引き出す取り組みも行っています。



豊かな市民生活のために

スポーツは感動や健康、交流、活力など大きな可能性を秘めています。

競技場、球技場や武道館などスポーツの場を整備し、市民生活をより豊かなものにしていくことも仕事の1つです。



まちの基盤をつくる — 土木建設課 —

道路・橋梁・河川など公共施設の計画・設計・監督が主な仕事ですが、いつも意識するのは…

- ・事故が起きない道路
- ・安全に渡れる橋
- ・自然災害に強い川

を造る・守ることで。



まちのあるべき姿を「かたち」にする

このかたちづくりをコーディネートするのが私たちの仕事、公務員だからこそ感じられる仕事の醍醐味です。



身近な人たちが暮らすまちだから

仕事への責任をより「リアル」に感じます。だから充実感もひとしおです。

みんなの想いを「かたち」にする—

このまちに暮らす人たちの生活を考え、市民と市役所がともに創り上げたまちの姿です。

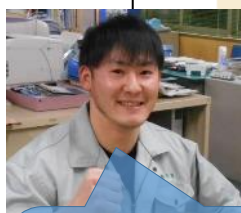


災害につよまちづくり

いつおこるかわからない災害においても、ヒト・モノの流れを止める訳にはいきません。災害につよまちづくりも市役所の使命の1つです。



先輩職員の声



小林 寛之 (26)
土木部
土木事業所

市民の生活を守るために、強い「使命感」を感じます！チームワークのよい職場なので、お互いにフォローしながら、仕事を進めることができます。



関 紋子 (29)
土木部
公園みどり課

子どもたちの笑顔を見ると癒やされます。市民と一緒に考えてカタチにしていく仕事なので、「コミュニケーション」が重要です！



藤原 大千 (21)
土木部
土木建設課

担当した道路を身近な人も利用していて、仕事への責任をより「リアル」に感じます。だから充実感もひとしおです！



まちづくりをプランニングする —都市計画課・公共建築課・建築指導課—

建物をつくる

小・中学校、市営住宅、旭山動物園の園舎といった公共建築の設計・工事監理が主な仕事です。設計は設計事務所に委託し、工事は建設会社に発注して、建物が完成するまでの流れ全体をマネジメントします。建物のリニューアルなどは、CADを使って私たちが設計することもあります。



市営住宅・北彩都団地

建築確認制度

建築物は市民の生命や健康に関わる重要な財産です。建築前に建築計画が建築基準法に適合しているか審査し、建築後に計画通りに建築されているかなどを検査しています。

毎年、1,000棟以上の建築の確認に関わり、安全なまちづくりに貢献しています。



まちのランドマークをつくる

小・中学校は、子どもたちの思い出となる大切な場所です。私たちは、その建設プロジェクトに強い責任感・使命感を持って取り組んでいます。

ユニークな展示方法で全国に広く知られる旭山動物園。閉園の危機を乗り越え人気スポットに生まれ変わった道のりには、ユニークな園舎の建設が欠かせませんでした。旭山動物園の復活にも私たちの仕事が活かされています。



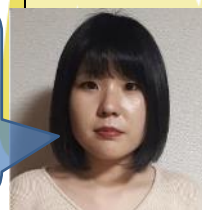
都市計画

まちの健全な発展と秩序ある整備を行うため、住居、商業地、工業地の適正配置など土地利用や主要な道路・公園等の整備に関する計画を立てています。市街地再開発や宅地開発、景観づくりに関する仕事も行っています。



まちづくりが進む北彩都あさひかわ

計画された建築物が法律に合っているかをチェックする仕事は、自分たちが市民の安心・安全の土台を作っているんだという使命感や手応えを感じられます。何気なく使っている店も家も学校も、多くの知識や技術が詰まっているものだと知ることができ、新たな視点で旭川のまちをみることができます。常に「気づき」が得られる職場です。



先輩職員の声

江波 香織(28)
建築部
公共建築課

くらしの環境を整備する —設備課—

建物を活かす

電気、水、空気が流れることで建物がより快適に使用できます。快適に、そして安心・安全に使用するためには建築設備の充実が必要不可欠です。設備課では、建築設備の計画・設計・工事監理の仕事を行っています。



完成に向けて

施工計画や施工図のチェック、作業工程などの監理を行い、工事完了後、適正に工事が行われているか検査を行います。設備工事は建築工事の終盤にかけて盛んになります。工期を厳守するために事前準備が大切です。



環境への貢献

旭川の自然を守るため、再生可能エネルギーの導入を計画し設計に反映しています。導入設備には「太陽光発電」「太陽熱給湯システム」をはじめ、地中の熱を利用した「地中熱ヒートポンプシステム」、雪の特性(雪氷熱)を活かした「雪冷房システム」などがあります。



魅せるをつくる

東光スポーツ公園のナイター施設や旭川駅前の噴水など施設の魅力を更に高める設備があります。よりよい「魅せる」を目指し、メーカーや関連部署と連携し、試行錯誤しながら作り上げていきます。



冬の生活の手助け

旭川の厳しい冬は有名ですが、少しでも快適な冬を過ごすための設備があります。雪を流す流雪溝の制御設備や路面の雪を溶かすロードヒーティング設備、これらも我々の仕事です。



先輩職員の声

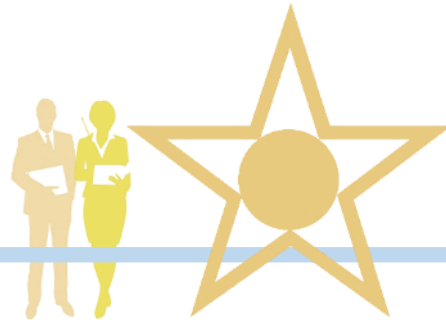
小林 和広(35)
建築部
設備課



自分で設計した内容がそのまま工事に反映されるため、責任は重いですが、その分やりがいを感じることができる職場です。市民や施設管理者とのコミュニケーションをとり、より良い施設、設備にできるよう心掛けています。私たちと一緒に市民に親しまれる施設を作っていきましょう。

5 先輩職員の紹介

※ 年齢は令和3年4月1日時点、所属と内容は取材当時のものになります。



大学卒の部-事務(一般行政)

市役所職員を目指すきっかけを、教えてください。

定期的に環境を変えながら仕事をするのが性に合っていると感じたことが公務員を志望したきっかけです。

市役所の仕事を調べると、部署を異動しながら、まちの維持・発展のためにいろんな分野の仕事に関わっていくことを知りました。

また、その異動ごとに違った性質の仕事に携わり、様々な経験ができると思ったことも理由です。

多様な仕事をする中で自分の適正や、やりたいことを見つけ、自分自身もスキルアップしながらまちづくりに携わっていきたい、そう思って市役所職員を目指しました。



南極の氷(寄附)贈呈式



猪狩 琴音(28)
平成28年度採用
旭川市科学館

今の仕事でやりがいを感じる時はどんなときですか？



仕事の一つとして館内の案内や展示物の説明を行っています。幅広い年代の来館者の中でも「子どもたち」が新たな気づきを得てくれたときは、格別のやりがいを感じます。

先生のお話を目を輝かせて聞き入り、自分の知っている知識を一生懸命話している姿を見ると、これから先もこの好奇心を絶やさず成長してくれたらと願って止みません。

また、少し大きな高校生や大学生の方々は職場体験や教員研修などで利用されることもあります。科学館での研修を通じて得た体験を、将来少しでも生かしてもらえたらーと思いながらお話をしています。

採用時と比べて、今の自分が成長したと思う部分は？



プラネタリウムのハロウィンイベント

最初の1年は役所の事務について、手順や書き方のルールなど、多くの事を学びました。

そうして事務をこなしていくうちに、年間を通しての仕事の流れを把握し、長期的なスケジュールの中で時間を上手く使って業務を進められるようになりました。

最近では、ニュースなど情報の捉え方や、役所の立場に立った物事の見え方が少しずつできるようになってきたことも成長ポイントの一つと感じています。

これからの目標を教えてください。

自分の成長だけではなく、これから入ってくる後輩のために、指導の仕方や関わり方が上手くなるよう、先輩のやり方を見ながら勉強していきたいです。

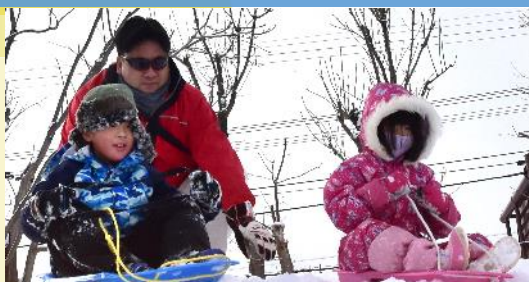


社会人の部-事務(一般行政)

なぜ旭川市を受けようと思いましたか？

もともとは関東に住んでいましたが、息子のアトピー性皮膚炎の治療のため、数年前から漠然と北海道へ移住したいと考えていました。実際に時間とお金が許す限り、季節を変えて北海道の様々な場所に足を運び、息子の様子を確かめていたんです。たまたま旭川市に長期滞在する機会があり、実際に暮らしてみると大変住みよいまちだと思いました。また、旭川で過ごす息子の調子も良く、環境的にも相性が合うと感じました。

そんなときに、旭川市役所で社会人経験者の採用を行っていることを知り、これまでの経歴を生かして貢献できる仕事だと思い、妻と相談して採用試験を受けました。おかげさまで現在では、息子の調子も良くなり、旭川の大自然の中でのびのびと育っています。



今の仕事のやりがいをお願いします。

前職であるシステムエンジニアの経験を生かして様々な業務改善を提案し採用されたときや、トラブル発生時などの急な依頼に対して迅速に対応し、お礼を言われたときにやりがいを感じます。また、先輩職員の方の知識と自分の経験が組み合わせられ、力を発揮できることがとても嬉しいです。

旭川での生活の感想と
これからの目標を教えてください。

近隣のスーパーで北海道産の野菜や魚介類など魅力ある食材が手に入り、何を食べても美味しく、とても満足しています。北海道第2の都市とあって住環境も整っており、日常生活は



特に困ることはありませんし、どうしても必要な時は通販という手段もあります。車は土地面積が広いことからあったら便利です。ただ、冬は路面が凍ることもあり運転は慎重になりますね。これからの目標としては、今まで培ってきた情報技術をベースとして、先輩職員の方の知識との相乗効果で、より良いまちづくりとより良い行政に貢献していきたいと考えています。

実際に転職して民間企業と公務員の違いは感じましたか？

そうですね。ビジネスライクで仕事をしてきた自分としては、やはり入庁してから民間企業との違いを感じる部分もありました。

例えば、施策の影響範囲が広いことから様々な面において慎重な検討が必要ですし、複数の業務をこなさなければならないことも多々あります。

ただ、今までの経験が役に立っていないかと言われると、決してそうではありません。培ってきた知識や技術があるからこそ現在の業務をこなしていると考えています。

また、何より感じるの、新たな環境でこれまで挑戦したことのない仕事に携われることが、素直に新鮮で楽しいですね。



高校卒の部-事務(一般行政)

市役所職員を目指すきっかけを、教えてください。

高校2年生の進路を決める時期に、進路指導の先生に勧められて読んだ、ドラマ化したとある漫画がきっかけです。

主人公が役所に入って最初の配属が生活保護の部署となり、現場で奮闘していく話なんですが、地方自治の課題や、市民の方々の悩みや不安を受け止め、解決に向かってひたむきに頑張る主人公の姿に心を打たれました。

生まれ育った旭川市に貢献し、市民の方々に信頼される公務員になりたいと思い、旭川市を受験しました。



吉野 竜太郎 (23)

平成28年度採用
総合政策部広聴広報課

採用時と比べて、今の自分が成長したと思う部分は？



今まで2か所の部署を経験しました。

最初は支所で窓口業務を担当し、多くの市民の方と接することで、正しい言葉遣い、社会人としての基本的なマナーなどを学ぶことができました。

現在の広報広聴課では、公式ホームページとSNSの運用・管理、テレビやラジオの制作などを行っており、

正確な情報を分かりやすく皆さんに伝えるにはどうすれば良いのかを日々学んでいる最中です。

異動により、全く違う仕事をしているので、転職したような気分になりましたが、多方面に成長できていると思います。

今の仕事でやりがいを感じる時はどんなときですか？



「多くの人に分かりやすく伝える」ということには明確な正解がないので、「ホームページが見やすくなった」、「分かりやすい」などと感想をいただいた時には、大きなやりがいを感じます。

特にSNSは、テレビや新聞を利用していない方にも情報を届けられる重要な手段です。どのような方にも平等に情報が届いてほしいと思い、毎日業務に当たっています。

これからの目標を教えてください。

高卒での採用は、大卒の職員よりも4年以上職員としての経験ができます。

同年代や年上の職員でも、経験年数が自分より短い方もめずらしくありません。

これまでの経験を活かし、年代の近い職員と活発にコミュニケーションをとることで、部署を超えた連携を強化していきたいです。

大学卒の部-事務(社会福祉)

なぜ市役所の福祉職を受けようと思いましたか？

私は学生時代、社会福祉学部に通学しており、その際に行った社会福祉施設への実習をとおして、福祉的な面から見たまちづくりについての仕事に就きたいと思うようになりました。

福祉に関する仕事はたくさんありますが、もともと福祉のハード面に興味があったことと、行政には福祉に関する部署が多数あり、介護・子ども・障がいなど、異動によって様々な分野に携わることができることに魅力を感じ、社会福祉卒を目指しました。

片岡 咲弥 (27)

平成28年度採用
福祉保険部障害福祉課

今の仕事のやりがいを教えてください。

現在は、窓口対応、課内の庶務業務等を担当しています。最近では福祉関係者が集まる会議へ出席する機会が増えました。

仕事でやりがいを感じるのをお客様から自分の対応を褒めていただく言葉をいただけたときです、安心して気分良くお手続きいただくと嬉しく思います。



採用時と比べて、今の自分が成長したと思う部分は？



窓口対応等の際、相手が伝えたい内容を正確に捉えられるようになったような気がします。

今の部署の窓口には自分の考えをうまく言葉に表せられない方も来られますが、最初の頃はその内容を捉えきれず、不快な思いをさせてしまうこともありました。

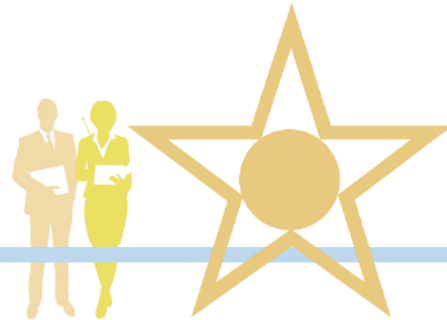
しかしお客様とのやり取りの経験を積み重ねることによって、少ない情報からも相手の意を汲み取る力が身につけてきたと思います。

これからの目標を教えてください。

業務上の課題や、お客様からの相談等に対して、福祉の専門的な知識を活かして対応していける職員を目指していきたいです。これらに対応するには、福祉の一つの分野だけでなく、幅広い知識が必要だと、現在の業務を通して実感しています。

様々な経験を積み重ねていき、福祉の専門性を高めていきたいです。





大学卒の部-技術(土木)

市役所職員を目指すきっかけを、教えてください。

大学進学で旭川を離れましたが、高校まで過ごした地元が好きでしたので、将来は旭川に戻って働きたいとずっと考えていました。

大学時代に旭川市役所のインターシップに参加した際に旭川市役所で働いている先輩から公務員の実際の仕事をみて、自分が勉強してきた土木の知識や技術が、旭川市のまちづくりに役立てられることを知り、公務員の一員として働きたいと思ったことがきっかけです。



井上 和弥 (25)
平成30年度採用
土木部土木建設課

採用時と比べて、今の自分が成長したなと思う部分は？



実際に工事の業務をこなすことでしか得られない知識や経験が、身についていると実感しています。

最初の頃に比べると、同じような設計でも早く終わらせられたり、また民間の土木事業者の方とも連携しながら期限までのスケジュールを考えるなど、一連の業務全体を把握できるようになりました。

今の仕事内容と、土木職の魅力・楽しさなどを教えてください。



今、所属している土木建設課では、道路・橋梁または河川等の整備をしています。その中でも、私は、生活道路の設計・監督業務に携わっています。

土木職の魅力・楽しさとしては、自分が考えて設計した図面をもとにして工事が行われて、新しいきれいな道路が完成された時は、とても仕事にやりがいを感じます。

これからの目標を教えてください。

もっと色々な仕事の経験を積んで幅広い業務に対応していくことが目標です。また、自分の経験や知識を、これから入ってくる後輩に教えられるように頑張っていきたいです。

大学卒の部-技術(建築)

市役所職員を目指すきっかけを、教えてください。

「日本は諸国に比べて地震に強いですが、それはなぜだろうか？」と疑問に思ったことがきっかけです。

建物についてだけでも施工技術、研究者、材料、教育…種々ありますが、私は大きな要因として徹底した法整備及び法の遵守・指導や管理、つまり建築確認制度や定期報告制度といった、行政の力があると思っています。

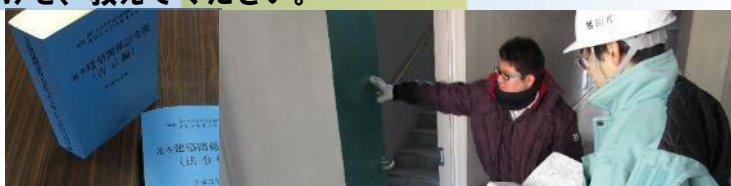
私もその一端を担いたいと思い市職員を志しました。

渡邊 隆之介 (25)
平成30年度採用
建築部建築総務課

採用時と比べて、今の自分が成長したなと思う部分は？

建築職としては、実務経験を積み、また休日や平日の終業後に勉強時間を確保し、2級建築士の資格を取得できたことです。

一方で市職員としては、一般市民の方からの相談受付、事業者の方と業務上のやり取りなど、様々な人とかかわりを通じて、対人スキルや対応力が身についたと思います。



今の仕事内容と、建築職の魅力・楽しさなどを教えてください。



住宅リフォームの補助金の審査や、サービス付き高齢者向け住宅の認可等を行っています。旭川の街と市民の生活をより良いものにしていくのは市職員の最大の目標の一つですが、自分の専門分野を生かし、現場に最も近いところで活躍できるのが建築職の魅力であると感じています。

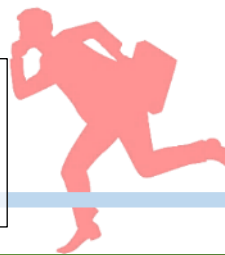
これからの目標を教えてください。

建築職として次は1級建築士、適判資格者試験とまだまだ試験が続きます。また、私はまだ民間住宅の政策にしか携わっていません。

よりたくさんの現場に関わり、経験を積むことで建築職としてもっと成長したいと思っています。



6 試験・勤務条件



旭川市の採用試験は … 人物重視の選考

学歴や社会人経験などに応じて **5つの試験区分**があります

大 学 卒 の 部

大学卒の30歳以下の方向け

- ・教養試験無し(※)
- ・申込者全員と面接
- ・適性試験 (SPI3)
全国で受験可能 (※)

短大卒・高校卒の部

短大卒の28歳以下
高校卒の26歳以下の方向け

- ・試験内容は
教養・面接・書類審査
- ・事務職と技術職
ともに2次試験まで

社 会 人 の 部

職務経験5年以上の方向け

- ・教養試験無し
- ・適性試験 (SPI3)
全国で受験可能 (※)
- ・移住希望者向け
「UIJターン枠」有り

障害のある方の部

身体・精神・知的
の障害のある方向け

資 格 職 の 部

保健師・獣医師など
資格をもつ方向け

※ 募集職種や採用予定人数は、試験区分や年度によって異なります。また一部の職種では、専門試験があります。詳しくは試験区分ごとの試験案内をご覧ください。

※ SPI3はテストセンター利用で札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡の7カ所のほか、臨時で開設される会場にて受験が可能です。

申込はインターネットから！書類作成から申込まですべてPC上で完結します。

※希望者は紙に印刷した申込書でも受付します。詳しくはお問い合わせください。

給与

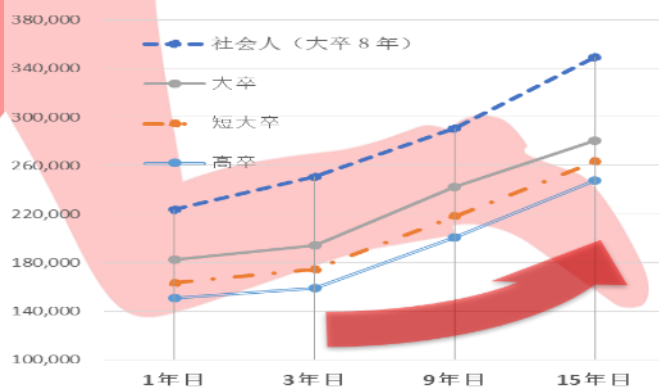
初任給

大卒 **182,200 円**
短大卒 **163,100 円**
高卒 **150,600 円**

※ 採用前の勤務経験等に応じ加算されます。

手当

期末・勤勉手当
通勤手当
住居手当
寒冷地手当 など



給与額は毎年あがっていく！

休暇

年次有給休暇 … 年間 20 日間

夏期休暇 … 5/1～10/31 の間に 5 日間

そのほかに、忌引休暇や結婚休暇など

※ 「年次有給休暇」は、午前・午後・1 時間単位の取得も可能です。



子看休暇、育児参加休暇など
子育てに関する休暇制度も充実しています

旭川市役所では、職員一人一人が目指し、保ち続ける理想の姿として、次の人物像を掲げています。

市民目線に立った
協働志向

市民の立場に立って話を聞き、理解しようと努力する職員

チャレンジ精神旺盛な
未来志向

今までに無いことにもチャレンジできる職員

多様性を認め合う
チームワーク志向

皆の意見を聞きながらチームで仕事ができる職員

市役所の仕事は物事を動かすこと。そのためには仲間の協力はもちろんのこと、市民の立場に立って考え、市民の理解・協力を得ることが必要不可欠です。

そのためにはまず自分で考え、仲間と協力しながら行動できる力がカギとなります。



「旭山動物園」－旭川と聞いて皆さんが真っ先に思い浮かべるものではないでしょうか。

職員のアイデアから始まった行動展示は全国的な人気となり、今も多くの人々を魅了し続けています。

しかし、旭川は動物園だけのまちではありません。雄大な大雪山と共に北海道のほぼ中心に位置する絶好の立地条件に加え、家具や地酒といった潜在力溢れるコンテンツが沢山あります。その潜在力を旭山動物園に続く「旭川といえば〇〇」という新たな魅力として打ち出していきたい－その想いを「動物園、だけじゃない。」というキャッチフレーズに込めました。



この想いに共感できる皆さん、旭川市職員になって一緒に新しい旭川を作りあげてみませんか？

お問い合わせ

〒070-8525 旭川市6条通9丁目46

旭川市総務部人事課 職員採用担当

TEL 0166-25-5445（直通）

mail : jinji_ikusei@city.asahikawa.lg.jp



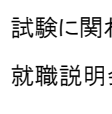
旭川市ホームページ
職員採用情報

旭川市人事課
公式ツイッター

旭川市
公式 LINE@



試験の詳細、合格発表
など



試験に関わる情報発信
就職説明会の告知など



市政に関する情報、
まちの注目情報など